

令和2年人口動態統計(概数)について

※R3.6.17 厚生労働省公表

○母子保健関係の主な指標

		出生率	合計特殊 出生率	乳児 死亡率	新生児 死亡率	周産期 死亡率	妊娠満 22週以後の 死産率	早期新生 児死亡率	死産率	妊産婦 死亡率
		人口1000対		*	*	*	*	*	*	*
				出生1000対	出生1000対	出産1000対			出産1000対	出産10万対
平成27年	全国	8.0	1.45	1.9	0.9	3.7	3.0	0.7	22.0	3.5
	徳島	7.4	1.53	2.5	1.3	3.7	3.0	0.7	21.5	0.0
	順位	34位	25位	43位	41位	26位	19位	22位	24位	
	実数	5,586人		14人	7人	21件	17件	4人	123件	0人
平成28年	全国	7.8	1.44	2.0	0.9	3.6	2.9	0.7	21.0	3.5
	徳島	7.2	1.51	3.0	1.1	3.4	2.4	0.9	17.3	0.0
	順位	34位	25位	45位	37位	16位	8位	34位	2位	
	実数	5,346人		16人	6人	18件	13件	5人	94件	0人
平成29年	全国	7.6	1.43	1.9	0.9	3.5	2.8	0.7	21.1	3.3
	徳島	7.0	1.51	1.9	0.8	3.5	3.1	0.4	18.4	0.0
	順位	35位	25位	29位	12位	22位	32位	5位	6位	
	実数	5,182人		10人	4人	18件	16件	2人	97件	0人
平成30年	全国	7.4	1.42	1.9	0.9	3.3	2.6	0.7	20.9	3.3
	徳島	6.8	1.52	2.0	1.2	3.6	2.8	0.8	17.9	0.0
	順位	34位	25位	29位	41位	32位	31位	33位	3位	
	実数	4,998人		10人	6人	18件	14件	4人	91件	0人
令和元年	全国	7.0	1.36	1.9	0.9	3.4	2.7	0.7	22.0	3.3
	徳島	6.3	1.46	2.4	0.9	4.2	3.5	0.7	19.4	0.0
	順位	40位	24位	40位	22位	38位	42位	22位	8位	
	実数	4,554人		11人	4人	19件	16件	3人	90件	0人
令和2年	全国	6.8	1.34	1.8	0.8	3.2	2.5	0.7	20.1	
	徳島	6.3	1.45	3.5	2.0	4.4	2.4	2.0	20.2	
	順位	30位	23位	46位	45位	43位	17位	45位	26位	
	実数	4,521人		16人	9人	20件	11件	9人	93件	

注1) 合計特殊出生率:「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性とその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

注2) 妊産婦死亡率:同年を含む過去5年間平均

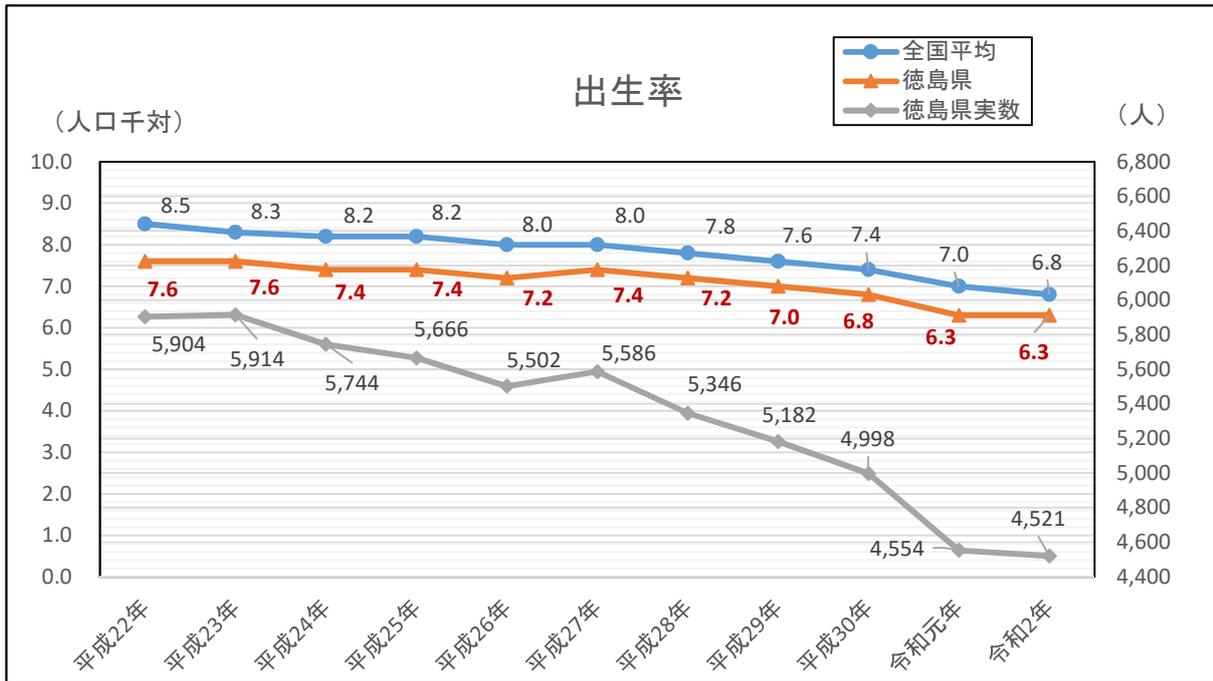
注3) 順位は全てベスト順位を記載(*は数値が低い順)

注4) 令和2年は概数(一部未確定値は空欄)

本県の周産期医療の状況

1 出生

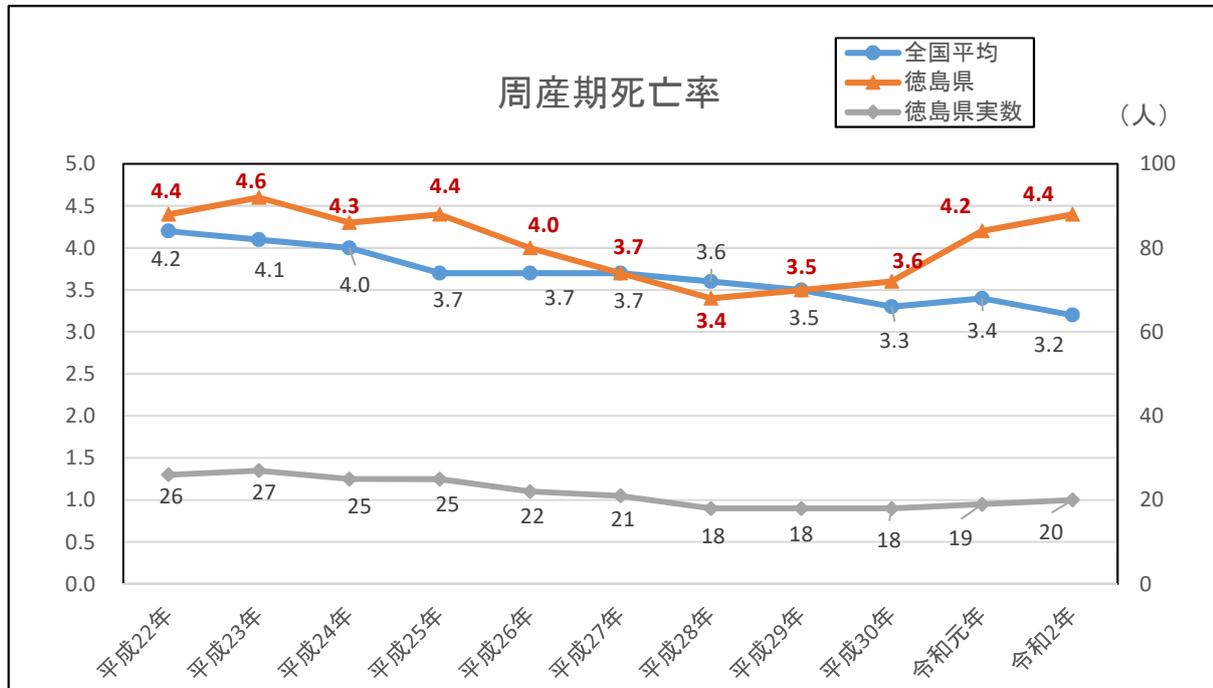
- 出生率



※ $\frac{\text{一年間の出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$

2 死亡

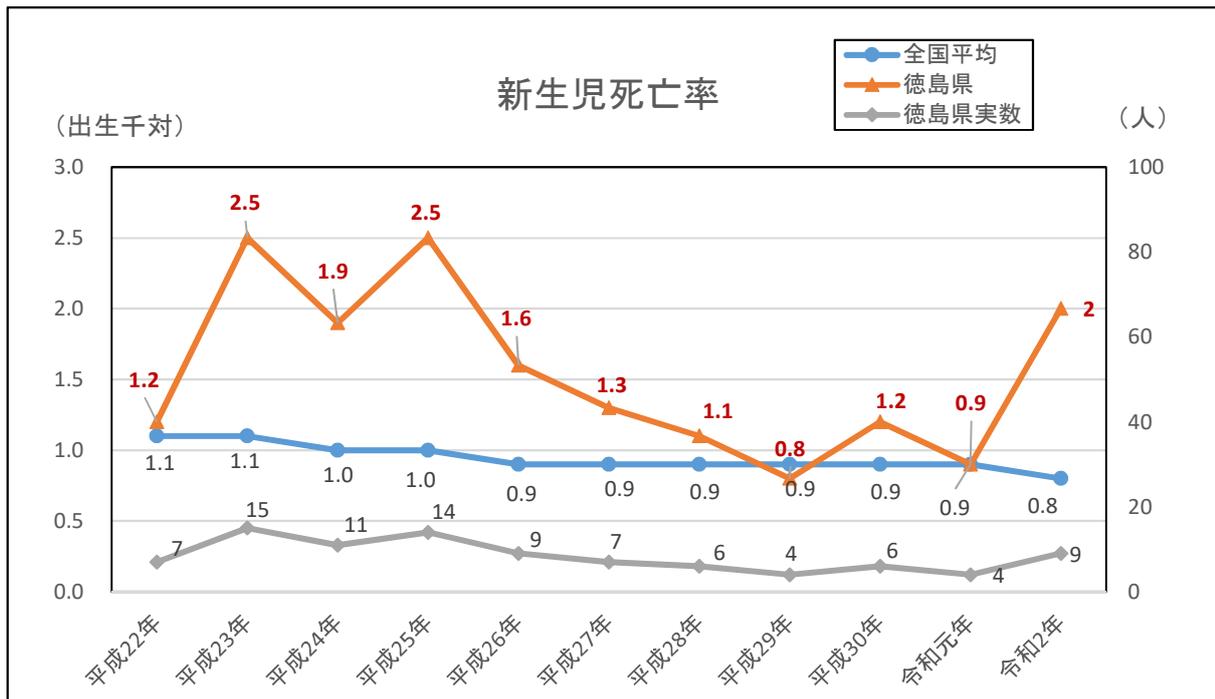
- 周産期死亡率



※ $\frac{\text{妊娠22週以後の死産} + \text{早期新生児死亡}}{\text{1年間の出生数} + \text{妊娠22週以後の死産数}} \times 1,000$

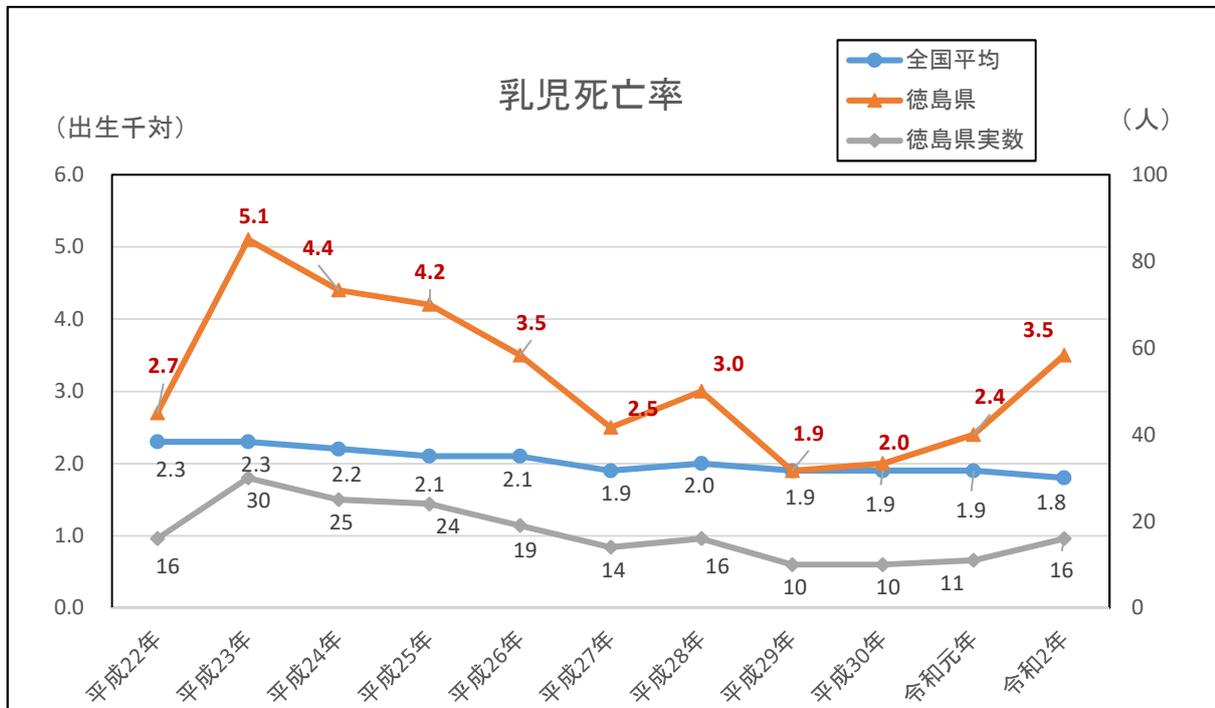
○早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

● 新生児死亡率



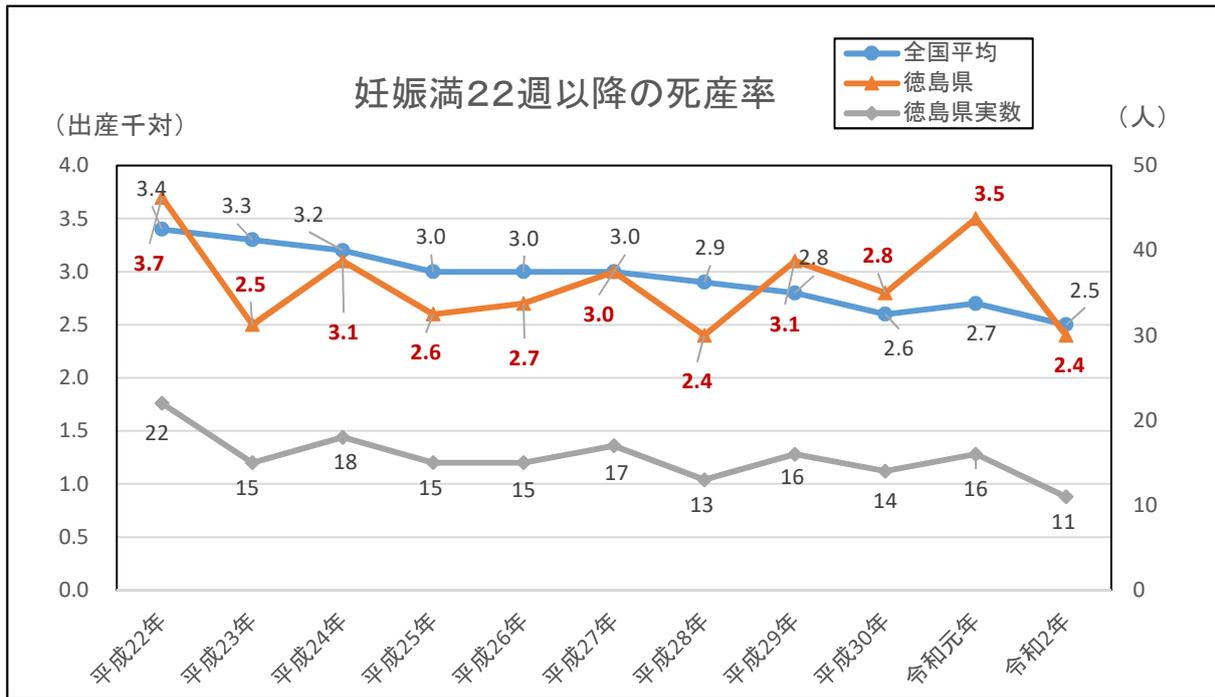
○新生児死亡：生後4週未満の死亡

● 乳児死亡率

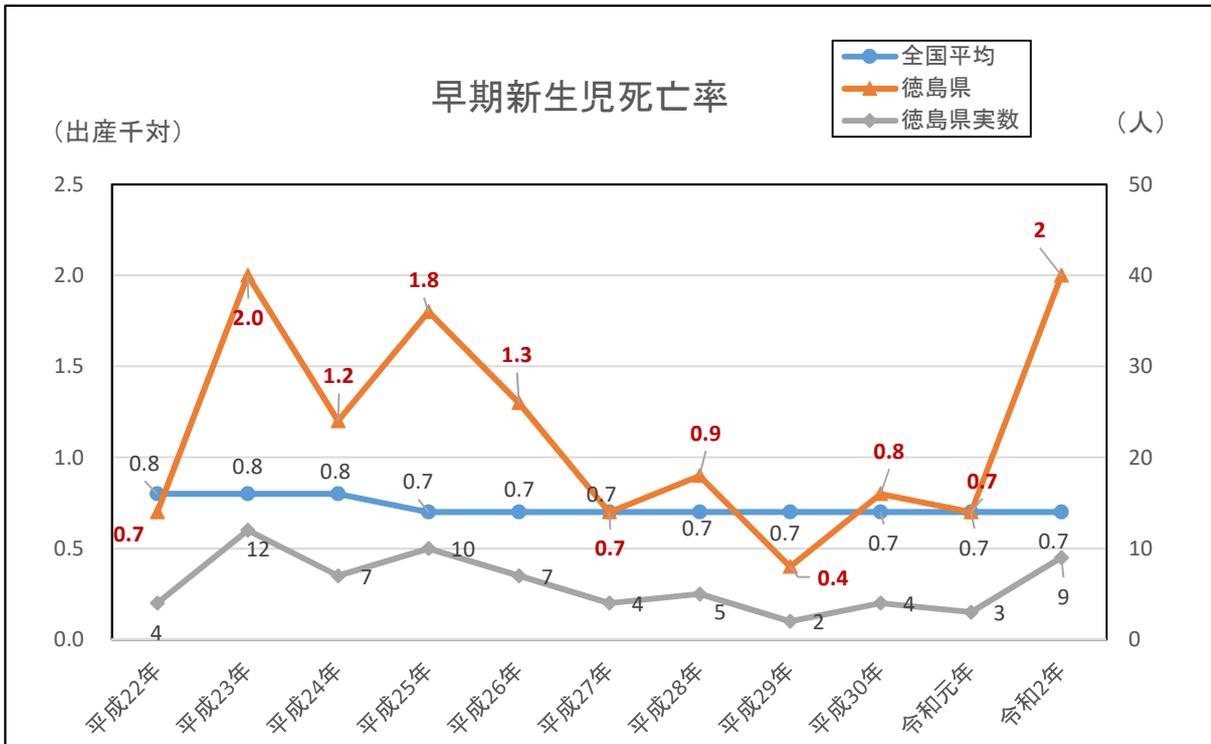


○乳児死亡：生後1年未満の死亡

● 妊娠満22週以降の死産率

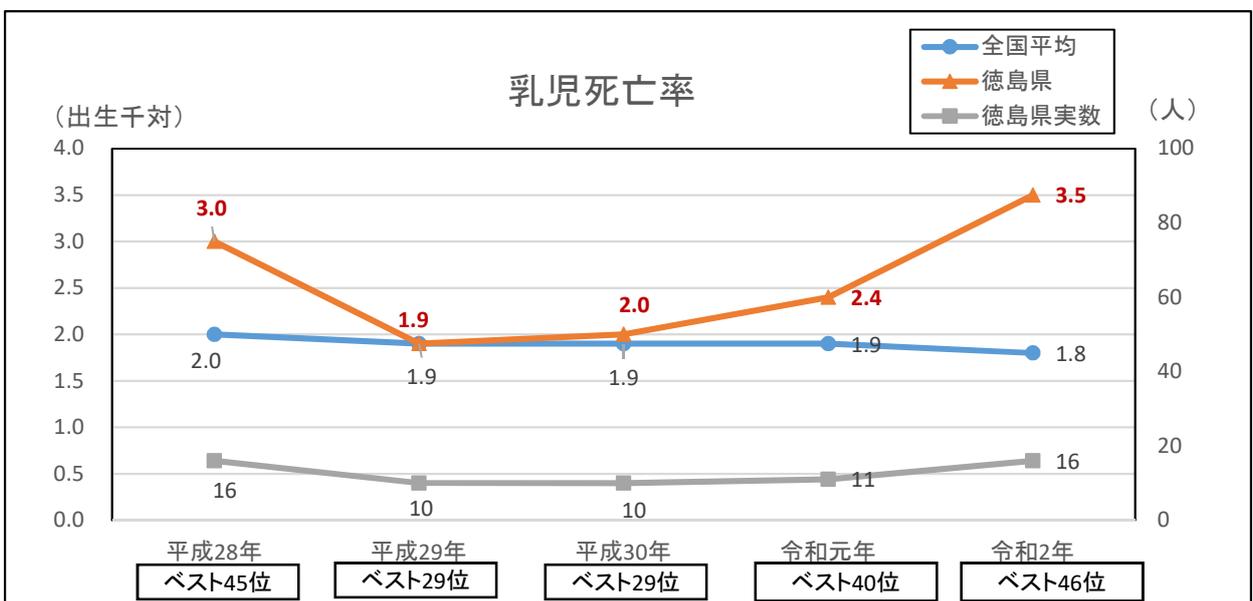
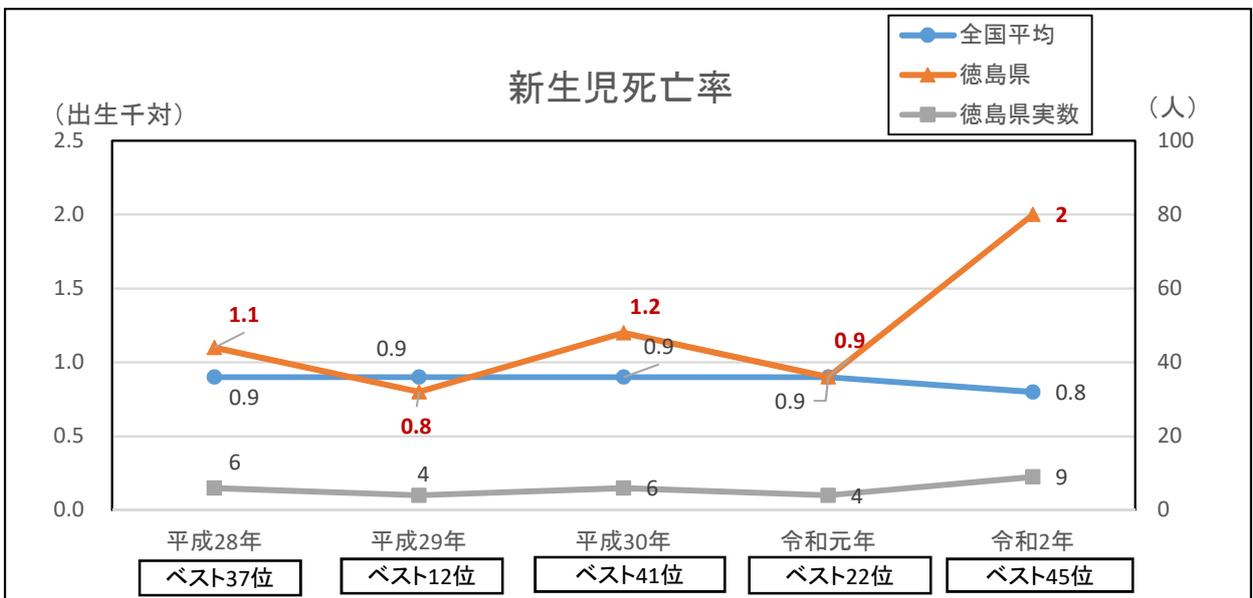
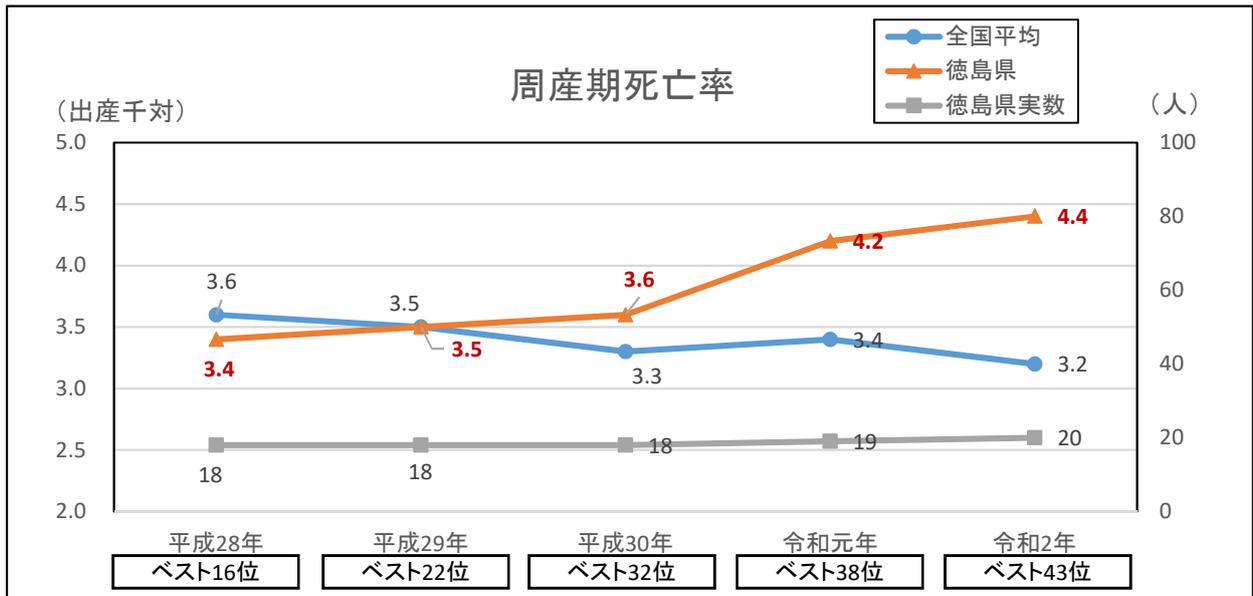


● 早期新生児死亡率



○早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

最近5年間の状況(平成28年～令和2年)



対策の検討

(1) 母子保健専門部会乳児死亡症例の検討(H30～)

<経緯>

- ・平成25年度乳児死亡率(4.2・24人)、新生児死亡率(2.5・14人)
全国ワースト1位→母子保健専門部会を設置

<方法>

- ・乳児死亡症例全例について、死亡調査票(原因や死亡までの経過)を産科、NICU、小児科にて記載→考察の資料とする

<考察>

■死亡時期別の年次推移

死亡時期	H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1	
生後1週未満	10	14	7	9	4	7	5	6	2	4	4	6	3	4
1週～4週未満	4		2		3		1		2		2		1	
4週以上	10		10		7		10		6		4		7	

■主な死亡要因

- ・先天異常、早産・未熟性、多胎妊娠、新生児(周産期)管理、生後4週以降の突然の心肺停止もしくは死亡等

各種対策

周産期医療体制の整備

- ・医療機器購入補助
- ・地域・総合周産期
母子医療センター運営補助事業
- ・周産期医療対策事業
(協議会運営・救急情報システム・
相談・関係者研修・調査・研究)

胎児超音波精密 スクリーニング体制の 整備・拡充

- ・人材育成(eラーニング構築)
- ・研修会の開催
- ・高度専門機器の整備

複産・超早産数の 減少を目的とする 適切な不妊治療の推進

- ・研修会の開催

普及啓発・リーフレット作成

- ・RSウイルス感染症
- ・葉酸摂取
- ・乳幼児突然死症候群
- ・喫煙対策
- ・子どもの事故防止プロジェクト
プレコンセプションケア